

# 射水市教育委員会 4 月定例会会議録

開会日時 平成 27 年 4 月 22 日 (水)

開会 午前 10 時 00 分

閉会 午前 11 時 20 分

会議場所 下庁舎 201 会議室

出席委員

長井教育長、織田委員、宮原委員、眞岸委員、大代委員

会議事件説明員

尾山教育次長、成田教育次長、原学校教育課長、荒谷生涯学習・スポーツ課長、  
沢田教育センター所長、日下給食センター所長、原田新湊博物館長、杉高学校教育課主幹、  
杉本中央図書館長、塩谷学校教育課長補佐

傍聴人数 なし

会議の要旨

午前 10 時、教育長が開会を宣した。

## 1 会議録の承認

承認された。

## 2 教育長の報告

(1) 総務文教常任委員会 (4 / 14) の開催状況について  
教育長が概要を説明し、教育次長が資料 1 に基づき説明した。

## 3 各課等の報告事項

(1) 平成 27 年度教育委員会主要事業について  
学校教育課長及び生涯学習・スポーツ課長が資料 2 に基づき説明した。

(2) 小・中学校児童生徒数について  
学校教育課長が資料 3 に基づき説明した。

(3) 平成 27 年度学校薬剤師の変更について  
学校教育課長が資料 4 に基づき説明した。

(4) 教育委員会行事予定  
学校教育課長補佐が資料 5 に基づき説明した。

## 6 その他

次回教育委員会の定例会開催日時について

日時・場所は、5 月 27 日 (水) 午前 9 時から新湊中学校を学校訪問  
午前 10 時 30 分から同場所で会議

## 7 議事

(1) 平成 27 年度教育委員会主要事業について

[委員] 学力向上対策事業における、土曜塾やイングリッシュキャンプなどの参加費、受講料はかかるか。

[事務局] 土曜塾や夏休み補充学習は、自分たちが持ち寄った問題集等を自主学習し、教員 OB 等の講師に教えてもらう内容になると考える。受講料等の負担についてはないものと考えている。イングリッシュキャンプについては、食事等の実費相当については、参加者に負担していただく考えである。

[委員] 土曜塾は 20 名程度となっているが、それ以上の子どもたちの申し込みがあったらどうするのか。

[事務局] 土曜塾は希望制であるので、希望のあった人数に対応する必要があると考えている。イングリッシュキャンプは 20 名を超える希望があった場合は抽選もやむを得ないと考えている。

[委員] 抽選になる場合もあるなど、事前にその旨もしっかりと示されたい。  
特色のある学校づくり事業についての考えはどうか。

[事務局] 特色ある学校づくり事業としては、一旦廃止としたが、学校の要望も強く、どういったあり方が良いのかを再検討したい。

[委員] 生涯学習活動において、地域の公民館等で講座の開設などをされている。技術・知識を習得された方々が講師となり、地域の生涯学習活動に協力することのできる体制ができないものかと考えるが、いかがか。

[事務局] 芸術文化振興事業の中で、新規事業として、まちなか博物館・美術館事業がある。これはまだ企画中であるが、市民が気軽に作品に親しんでもらうため、既存の施設を利用した作品展示というものを考えている。

[委員] 学力問題となるとそれぞれの学校において、状況が違ふと考える。学校の現場ではどのような対応がなされているのか。

[教育長] 一小学校を例に挙げれば、平均点よりも、一人一人の学力状況はどうかということ进行分析した。子どもたちがどこに位置するのか学級で分布図を作成し、どの子がどこに課題があるのかを調べた。また、Q-U 調査を実施し、集団の中で人間関係で悩んでいる子どもや学力で自尊感情が低くなっている子どもがどうであるかを学級ごとに分析している。学力調査には問題の出題意図がそれぞれにあり、国・県の報告書がある。これを教科・項目ごとに洗い出して、1～6 年生の担任が自分の授業では、これをもっと大事にしなければならないといったことを、一人一人が方策として持ち、授業改善に生かしている。

[事務局] 一中学校を例に挙げれば、若手教員に自信を持ってもらうため、授業を公開、互見授業を行うこととした。特に同科目の先輩の授業を必ず見ることが研修として行った。全国学力テストを行う国語、数学に限らず、他科目の教員においても、学力向上の意識をしっかりと高めていくことが重要。4 月と 11 月に中教研の学力テストがあり、4 月のテストを分析し、どの子どもにどのような課題があるかを教科ごとで話し合わせた。11 月のテストでどの程度の成果を上げることができたかを目標を持たせて取り組ませた。

[委員] 昨年、学力テストの結果を公表したことから、市民の関心も高くなっている。市長は生み、育て、学ぶなら射水市でといったキャッチフレーズを掲げて取り組んでおられることから、選ばれるまちとして、学力という面も大きな要素の一つかと考える。

[委員] 昨年度、マイスター教員制度があったのだが、本年度はどうか

[事務局] 教育振興基本計画の中でも位置づけており、31 年度までは 21 名とする目標を掲げている。本年度は計 11 名を任命する予定である。

[委員] マイスター教員を受けたことで、心労など負担が大きくなりすぎないように配慮されたい。マイスターを受けた教員の意見・感想などもしっかりと聞いてあげてほしい。

[事務局] 県でも同様に授業の達人、授業力向上推進リーダーというものがある。これとのバランスも考えながら、過大な負担とならないように配慮している。

[教育長] 教員の大量退職、採用の時期にあり、学校現場が急激に若返っている。40代の中堅リーダーの層が薄い状態である。このような中、授業技術をいかに継承していくか、創造させていくかが大きな課題となっている。県、市の取組は、その中堅教員にプライド、自覚を持ってもらうということと併せ、若手教員が、中堅教員から学ぶ機会を設けている。マイスターを任命し、射水市の教育の中でいかに生かしていくかが、何よりも問われていくことと考えている。

[委員] マイスター教員として任命された方々は、リーダーとしての資質も兼ね備えられていると思っている。一方、悩み等もあるかと思う。マイスター教員を支える研修体制などは組まれているのか。

[教育長] マイスター本人の力量を高めることも求められるところであり、本年度は、マイスターがお互い関わり合い切磋琢磨し、学んだことを伝えていく体制づくりを事務局で検討しているところである。

[委員] 図書館に関する事で、子ども読書生活充実プランについて、どのようなものがあればよいと考えるか、何かあれば聞かせていただきたい。

[委員] 射水市は、子ども関係の本、絵本は充実している。週末にはボランティアの方々がいろいろな企画を催しておられる。

ボランティアの方々をブラッシュアップするような企画があればよいと思う。ボランティアの方々の勉強会など。どのサークルもボランティアのメンバーを探すのに苦労している。図書館や公民館等と連携し、読書を通じて、子どもたちとかかわりながら活動できるようなものがあれば、参加したいという人が増えてくると思う。

[事務局] 毎週土曜日には図書館ボランティアによる読み聞かせを行っている。定期的で開催されており、定着している。親子で参加し、楽しんでいただいている。これにより本に親しむ時間、本を借りる習慣を持っていただいていると考えている。

過去には、ボランティアの方に対する研修会、初級、中級、上級編というものを開催したこともある。また、そのような取組について目を向けていきたい。

[委員] ボランティアの方々のための研修、及び一般のボランティアをしたいという気持ちのある人のための研修を企画し、呼びかければ裾野は広がっていくと考える。

以前に大型絵本を各公民館に設置されたかと思うが、扱いにくいこともあって、使わなくなっているところもある。ぜひ、眠らせず活用してほしい。

[委員] 子どもたちの健康診断時に大型絵本が使われていた。公民館だけに限らず、できる場所で活用してほしい。

## (2) 平成27年度学校薬剤師の変更について

[委員] 学校薬剤師の具体的な仕事について聞かせていただきたい。

[委員] 児童生徒の健康相談や保健指導のほか、適正な薬の服用など薬と生活、ドラッグの危険性などの講演などもされている。

[事務局] 学校の消毒関係や検査関係の薬品について助言されている。また、宿泊学習等の学校行事に養護教諭と連絡を取りながら、必要な常備薬などを点検してもらっている。給食室、配膳室などの衛生状況の検査も行なってもらっている。各学校で学校保健委員会を開催しているが、学校の持つ課題について、学校三師の一人として、加わってもらい、子どもたちの保健管理状況について意見をいただいている。

( 3 ) その他

[委員] 小1プロブレム、中1ギャップの状況は把握しておられるか。

[事務局] 4月に入ってから学校の個別相談はないが、早期対応の必要なものについては、学校へ指導していく。

[委員] 小・中新1年生については、ゴールデンウィークもあり、対応が後手に回ることもある。早めの対応を促していただければと思う。

午前11時20分、議事等が終了したので教育長が閉会を宣した。